

## 資料①:草加市立病院薬剤部で病院実務実習(コア・カリキュラム)を受けられる薬学生の皆さんへ

★★実務実習生の方は下記を熟読し、実習に臨んでください★★

### ■実務実習の心構え

草加市立病院の理念に基づき、実務実習指導薬剤師の指示に従って実習を行いましょう。決して個人の判断で行動せず、また実習生という「甘え」は持たずに「社会への直前段階(プレ社会人)」として責任を持って実習に臨んでください。

### ■実務実習の指導体制

草加市立病院における病院実務実習では、下記薬剤師が中心となって運営や成績評価を担当します。

実務実習総責任者	木村直也(薬剤部長、認定実務実習指導薬剤師)
実務実習責任者	本石寛行(主査、認定実務実習指導薬剤師)
プリセプター薬剤師	平野 航 (主任、認定実務実習指導薬剤師)

上記3名以外にも日々の実習では薬剤部全体で実習指導しますので、さまざまな年代の薬剤師、専門認定を有する薬剤師と交流が可能です。

### ■実習開始初日に持参するもの

- ・清潔な白衣(長袖白衣又は半袖白衣、大学独自の実習白衣<大学ロゴ付きやグレー白衣>でも可)
- ・印鑑(三文判もしくはシャチハタなどのゴム印でも可、調剤印に使用するためシャチハタが便利)
- ・白色上履き(スリッパ等の踵が無いものは不可、ナースサンダル等のつま先が出ているものも不可)
- ・筆記用具
- ・名札(大学で用意されている名札で可、大学構内で使用している名札を持参してください)
- ・携帯電話等で確認できるメールアドレス(実習関連の連絡のため使用します:予定変更、研修会のお知らせ等)
- ・昼食準備(下記の食堂売店の項目を参考し各自決定してください)
- ・学生証のカラーコピー(原寸大。拡大縮小の必要はありません。大学名、学籍番号、顔写真がある表面のみで可)
- ・眼の保護具(ゴーグル、花粉症用眼鏡、フェイスシールド等) ※実習3週目までに用意してください

下記提出物は、事前に大学より病院に送付されていることもあります。各自、大学担当指導教員に「草加市立病院へ下記書類が送付済みであること」の確認をお願いします。

- ・健康診断証明書
- ・各種感染症への対応確認(ワクチン接種歴もしくは抗体価)の証明書類  
4種(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)  
B型肝炎  
インフルエンザ<第IV期実習のみ>  
新型コロナウイルス感染症<2022年8月～当面の間、ワクチン接種歴を確認させていただきます>

※詳細は「資料②:草加市立病院での実習受入れ時に必要な各種感染症の対応確認について」をご確認ください

### ■実習開始日までに準備すること

病院実習開始3週間前(薬局実習の最終週)を目途に、事前連絡のメールを送信します。その際には FUJIFILM 社【薬学】実務実習指導・管理システムのメール機能を使用しますので、該当メールを確認できるように設定をお願いします。

当院では病棟での服薬指導実習の際に該当患者さんから同意書(「資料③:病院実習説明書」)の取得が必須となっており、同意書には大学の担当教員の氏名欄があります。実習中は担当教員の氏名欄を指導薬剤師が代筆することを担当教員向けの説明文書でお伝えしています。各自、担当教員へその旨を説明・確認しておいてください。草加市立病院概要及び薬剤部概要を病院ホームページで確認しておいてください。また薬局実務実習の振り返り、及び薬学共用試験(OSCE)や学内での実務実習事前学習を再度復習しておいてください。

## ■実習初日の集合時間及び集合場所

集合時間:7時 50 分(初日のみ) 集合場所:子供急病夜間クリニック前(下図参照)

※ 実習開始前に各自に個人ロッカーや机・椅子などの説明をしますので実習初日のみ上記の集合時間を厳守してください。

## ■病院への往復について

必ず公共交通機関を利用して下さい(車、オートバイは不可)。バスの本数は多くないので事前に確認してください。自転車を利用する際には必ず実習初日に報告してください。(患者用駐輪場の利用は不可。必ず下記の職員用駐輪場を利用してください。)

往復の服装はスーツ等を着用してください。ただし、第Ⅱ・Ⅲ期の実務実習中の特定期間はクールビズ(ノーネクタイ)で可能です。特定期間については実習開始日に説明します。

## 実習初日の集合場所・集合時間



## ■実習 2 日目以降について

実務実習の時間帯は、月～金曜日、8時30分～17時00分となります(祝祭日は実習休み)。

2日目以降の実習期間中は毎朝、8時30分に実習が開始できるようにしてください。また実習期間中に台風や降雪などの自然災害が発生した際、病院への公共交通機関に支障を来し実習に影響があることも想定されるため、携帯電話等で確認できる緊急メールアドレスを登録していただきます。突然の実習中止に関しては担当薬剤師からメールにて緊急連絡をすることがあります。当院 薬剤師から大学教員への転送依頼のあったメールは、必ず大学実習担当教員へ転送するようお願いします。この場合、担当薬剤師からは大学実習担当教員へはメールをしませんので注意してください。

## ■更衣ロッカー・更衣室

男性・女性ともに施錠可能な更衣室ロッカーを貸与しますが貴重品は各自保管してください。盗難などの事故は全て自己責任となりますので十分に注意してください。

## ■病院セキュリティIDカード発行

実務実習生個人ごとに病院セキュリティカードを発行し、実習期間中に限り貸与します。これにより病院内や薬剤部内への入退室が許可されます(各自の入退室時間などがデータで記録管理)

セキュリティ面での問題が発生しないように、カードの管理は紛失等ないよう厳重にお願いします。

## ■薬剤部内のパソコン端末

実務実習生には院内電子カルテの利用者IDとパスワードを交付します。これにより実習期間中は電子カルテを閲覧することが可能になりますが、**すべての閲覧行動は電子ログ記録(証跡確保と漏洩対策)されているため取り扱いには十分に注意してください。**また電子カルテ以外にインターネットなど外部に接続できるPC端末は台数が限られており、常時使用出来る環境ではないことを承知しておいてください。薬剤部内は無線LAN環境下なので個人で持参したPC・タブレット等でのインターネット利用は可能となります。また薬剤部内のプリンタを共有して各自USBメモリでプリンタ印刷を利用することも可能ですので、使用時はスタッフへ声をかけてください。

## ■実習机などの環境状況

各実務実習生へ机、椅子などを設置し予習や復習が可能な環境整備をしております。各自の机上で休憩、昼食摂取、携帯電話等の操作も可能です。携帯電話等の使用は原則として昼休憩のみとし、各自の貴重品の管理には十分注意をしてください。

## ■昼食(食堂・売店の利用について)

病院3階には職員食堂(昼食700円程度)や軽食用自動販売機があります。院内にはコンビニエンス・ストア(デイリーヤマザキ)もあります。その他に、湯沸かし器、電子レンジ、冷蔵庫、冷凍庫なども薬剤部内に完備しています。お弁当などを持参して昼食時に自分の机で食べることも可能です。

## ■プリセプターシップの導入

当薬剤部では一人一人の実務実習生(プリセプティ)に相談窓口役の薬剤師(プリセプター薬剤師)が担当します。**プリセプター薬剤師は、実務実習生が11週間の長期実習中に生じた様々な悩みや実習の進捗などの共有をし、実務実習生の悩みや課題を共に全力で解決に向かう協力をします。**就職活動のことや国家試験対策などの実習に関係ないことでも相談に応じます。実務実習が終了した後でも様々な相談に応じていただけます。

## ■院外研修会

感染症やがん治療など多岐にわたる分野での院外研修会が毎月開催されています。実習期間中に**「スカイツリーライン薬物療法研究会(STLAP研究会)」**、もしくは**「草加薬物療法研究会」**に最低1回、参加する努力目標を設定しています。日程等の詳細事項は実習開始後に説明します。現地開催の場合には、事前に必ずご父兄の方と大学指導担当教員に主旨を説明し、できる限り参加への許可を得るようにしてください。WEB配信の場合には自宅等で視聴することができます。

## ■服装と身だしなみ

「身だしなみは礼儀であり志を表すものである」を常に実習の心構えとして持っていてください。特に頭髪や爪、白衣の袖などの身だしなみを整え、髪の長い女性は束ねるよう準備してきてください。必ず薬学共用試験(OSCE)に準じた身だしなみを心掛けてください。**身だしなみは実務実習生の主観的な考え方ではなく、患者さんや他の医療スタッフから見た客観的な視点を中心に確認します。**身だしなみ(髪色、髪長さ、化粧など)について、実務実習生と担当薬剤師間での意見の齟齬が生じた際には実習は開始せずに大学指導担当教員に判断を依頼します。**化粧などの身だしなみの判断に迷いが生じるようであれば、同年代の友人に相談するのではなく、大学指導担当教員やご両親などの年配の方の意見を参考にしてください。**(大部分の患者さんと医療スタッフは実務実習生の皆さんより年齢層が高いはずですので、大学指導担当教員や年配の方の意見が参考になると思います)。また事前にご相談に乗ることも可能ですので担当薬剤師までご連絡ください。

## ■感染症(COVID-19 感染症、インフルエンザ等)などへの対応

感染症の感染拡大等により、本文書の内容や実習内容を変更することもあります。

11週間にわたる実習ですので、自身の体調管理には十分留意してください。

## ■問い合わせ

上記の注意事項の中で不明な点に関しては下記の担当まで電話連絡してください。電話では当院電話交換手に「所属大学」、「氏名(フルネーム)」、「電話の目的(薬剤部への実務実習に関する問い合わせ)」を適切に申し出でください。正確に申し出なかったため担当薬剤師に取り継げないケースが発生していますので注意してください。

## ■認定実務実習指導薬剤師(実習担当薬剤師)から

はじめまして。草加市立病院薬剤部で皆さんの実務実習を指導担当する木村直也(きむらなおや)と申します。薬局実習はいかがでしたか?これから当院で実習を迎える皆さんの不安や心配ごとなどは計り知れないと思います。当院の実習体制はひとつひとつ実務実習生個人のレベルに合わせた指導内容であり、また11週間の長期実習を充実したものにするために相談薬剤師(プリセプター薬剤師)が個別に担当します。プリセプター薬剤師は常に皆さんの実習進捗状況や実習中における心の変化などに細心の注意を払っております。このような環境の下でこれまでに100名を超す実務実習生が当院で無事に実習を終えることができました。また実習が終わる頃には各実習生の成長ぶりに私自身が毎回驚かされます。皆さんも不安や心配ごとはあると思いますが実務実習生として勉強する立場ですから安心して実習に臨んでください。きっと当院薬剤部には皆さんの憧れる病院薬剤師がいるかもしれませんよ(笑)。それではお逢いできることを楽しみにしています。一緒に頑張りましょう。

## ■実務実習生からの事前電話について

上記の全ての内容を読んだ上で、実習開始前にぜひ皆さんから担当薬剤師まで挨拶を兼ねた事前電話をお待ちしております。緊張すると思いますが(笑)、勇気を出して下記までご挨拶をお待ちしております。その際に不明な点などを解決することや再確認することも大事です。まずは元気な明るい声でご挨拶をしてください。緊張していたけれど、やっぱり電話してよかったです!って気持ちにきっとなりますよ。お待ちしております。

---

〒340-8560 埼玉県草加市草加 2-21-1 草加市立病院 薬剤部長 木村直也(認定実務実習指導薬剤師)  
048(946)2200 PHS 8160 [naokimura3310\[\\*\]gmail.com](mailto:naokimura3310[*]gmail.com)([\*]は@に置き換えてください。)